

埼玉県連の理事・事務局長を務める市川です。パラグライダーを始めてから10数年が経ちますが、現在は埼玉県内のスクールで休日、教習を手伝っています。スカイスポーツが安全性を向上させ、生涯スポーツとして社会的な評価を得ながら発展していくことに、少しでも尽力できればと考え、立候補しました。

現職は、公益社団法人日本広告審査機構（JARO）の事務局長です。団体の職員として長年勤務している経験から、公益法人の運営の基本は、正会員の意見が反映されるよう、公正、厳正、中立、民主的に進められることと考えます。

2年前の役員選任において理事に選任され、JHFの「公益社団法人」の申請のための会計書類の作成などに携わってきました。内田会長、三法特別委員会の方々のご尽力、および理事・正会員のみな様のご理解により無事、内閣総理大臣から認定書を受けることができました。

今後、新法人として内閣府への報告書の提出するなど、従来よりも厳しい作業が求められておりますので、こうした作業に従事するとともに、事務局の業務の手助けをしていきたいと存じます。微力ながら、新法人制度の根拠法やJHF新定款、および会計事務の知識を生かしたいと思います。

なお、新しい法律に位置づけられた監事は、従来よりも多くの権限が与えられております。法律にのっとって理事会が正しく運営されているかなど、厳しくチェックしてまいります。